

⑨ 公共交通や歩行者自転車空間創出に資する道路空間の再構築

① 取り組みの方向性

- 公共交通や歩行者自転車通行空間を確保し、賑わいの創出につながる道路空間の利活用を推進します。

② 取り組みの考え方

都心部への通過交通抑制に資する道路整備を進めながら、まちなかを人が集い、憩い、賑わう場としていくため、基幹公共交通軸を中心に公共交通、歩行者が優先となる道路空間の再構築を検討し、誰もが歩きやすい歩道確保やユニバーサルデザイン化などを進めます。

自転車走行空間ネットワークの構築及び新潟駅周辺、万代、古町地区の駐輪場整備については着実に整備が進捗していることから、今後も環境にやさしい交通手段として自転車を使いやすいまちづくりを進め、まちなかの賑わいを創出します。

③ 具体的な取り組み案

- 道路機能の分担と再構築による多様な道路空間整備の推進
- 自転車走行空間ネットワークの整備促進（再掲）
- 新潟駅周辺、万代、古町地区の駐輪場整備促進（再掲）
- ぐるりん新潟島の利便性向上 など

[自転車走行空間の整備]



自転車道



自転車専用通行帯



自転車歩行者道活用



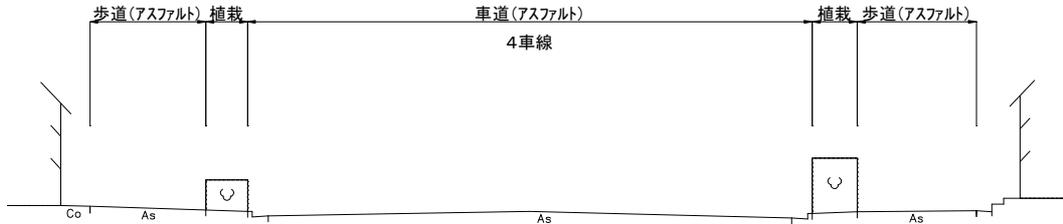
車道混在（幅広路肩・矢羽根）

[早川堀通りの道路空間整備（道路再構築の例）]

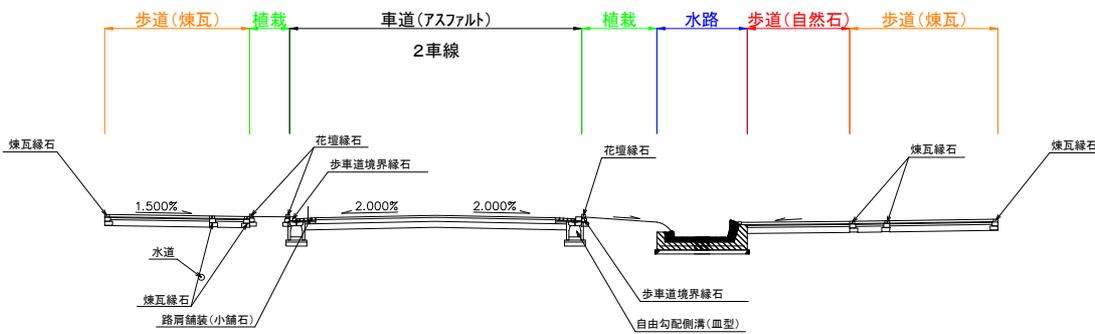
4車線あった車道を2車線に減らし歩道を広くするとともに、かつての堀割をイメージした「せせらぎ」などを整備し、ゆとりある空間を創出。



整備前



整備後



かつての堀割をイメージした「せせらぎ」



地元主催のイベント

⑩ 地域のまちづくりと連携した区内公共交通網の形成

① 取り組みの方向性

- 公共交通は区内の生活拠点内や拠点間を結ぶなど、地域のまちづくりと連携して形成します。

② 取り組みの考え方

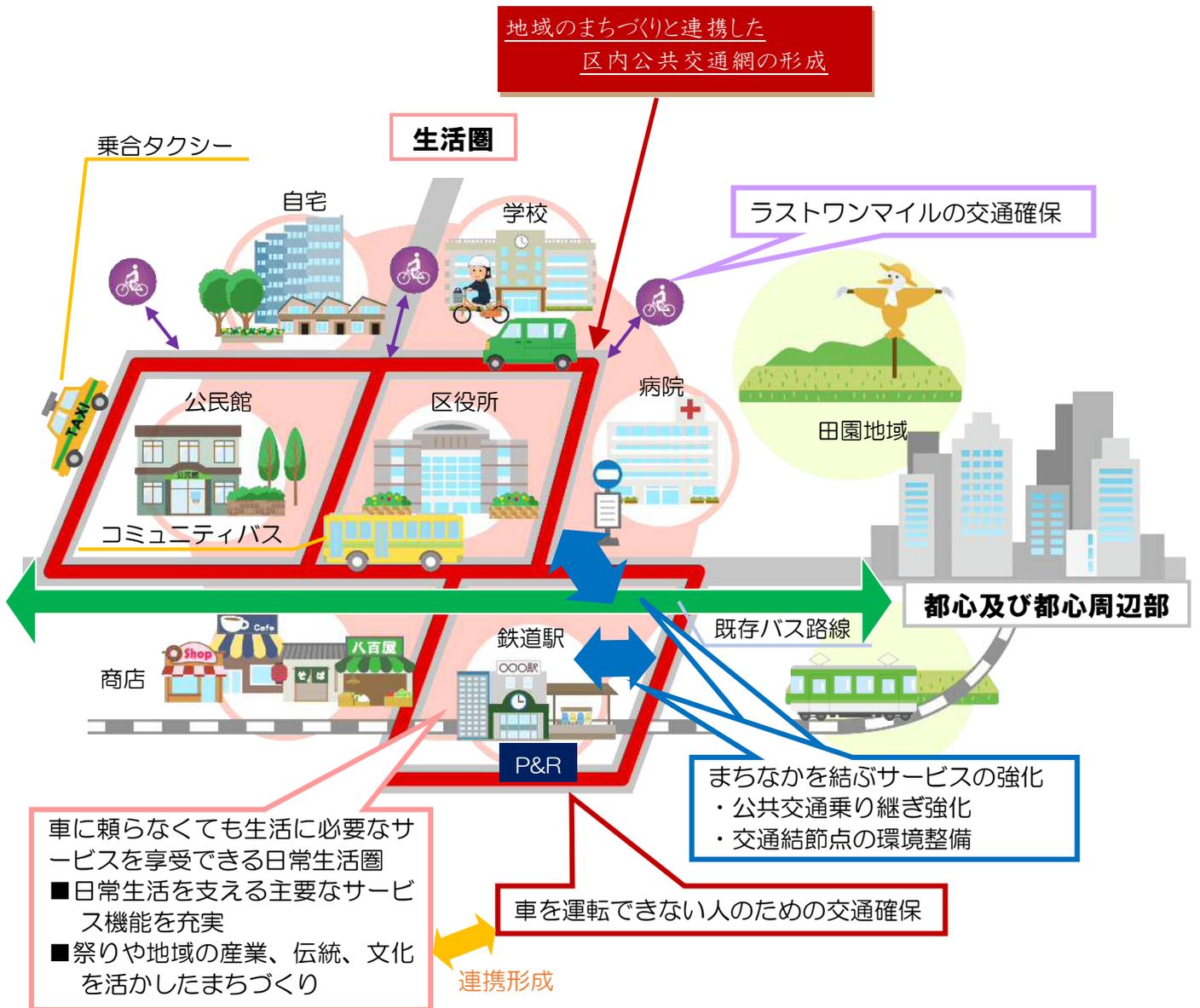
平成 29 年度に実施した「交通環境に対する市民意識調査」では、交通施策の利用有無について、区バス・住民バスを利用したことのある市民の割合は、区バスで約 19%、住民バスで約 5%と低い状況となっている一方、区バス・住民バスの利用者は毎年増加しているため、引き続き、区バス・住民バスなどの区内公共交通網の形成を図りながら、さらなる利用促進に向けた周知、啓発活動を積極的に進めます。

また、地域のまちづくりと連携したうえで、区内の道路環境整備や路線バス、コミュニティバスの運行支援などに取り組みます。

③ 具体的な取り組み案

- 区内公共交通網の形成
- 区バスの利便性向上と利用促進
- 地域内道路環境の整備
- 路線バスの運行支援 など

[地域のまちづくりと連携した区内公共交通網の形成イメージ]



⑪ 多様なライフステージのニーズや需要に応じた交通手段の活用

① 取り組みの方向性

- 地域の移動ニーズや需要に応じて、乗合タクシーや自家用車等を含めた適切な交通手段を活用します。
- 超高齢社会が進展するなか、各々のニーズや需要に対応するため、事例等を踏まえつつ検討します。

② 取り組みの考え方

平成 29 年度に実施した「市政世論調査」では、市民の約 8 割が「自動車に頼らなくては移動しにくいまち」と感じているため、様々なライフステージに応じた生活交通を充実させる必要があります。

地域の移動ニーズ、需要に応じ、幹線的な交通としての鉄道・バスにアクセスするフィーダー交通としてのバス・タクシー・自転車・自家用車の役割分担を図ります。

多様なライフステージのニーズや需要への対応として、高齢者に対しては、利用満足度が高い「おでかけ支援事業」を過度な財政負担とならない水準で引き続き継続するほか、これまでに取り組んできたデマンド交通の社会実験などを検証しながら、地域のニーズ、需要に即した生活交通の確保に取り組みます。

また、高齢者以外の世代に対しては、路線バスで対応できない区間をコミュニティバスやデマンド交通などで補完することや、新たにシェアサイクルの導入などを検討し、多様な交通手段を選択できるまちづくりを進めます。

③ 具体的な取り組み案

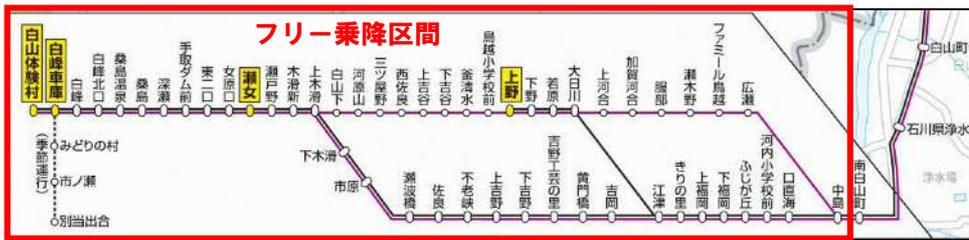
- 住民バス運行支援や社会実験の実施
- デマンド交通、乗合タクシー等の社会実験の実施
- 高齢者のニーズに応じたサービスの検討
- 新たなシェアサイクルの導入検討 など

[需要・ニーズに応じたフィーダー交通のイメージ]



コミュニティバス：
行政が中心となって、既存の路線以外のバスを必要としている地域に走らせるバス。

乗合タクシー（左：ジャンボタクシー、右：一般タクシー）：
自宅や指定の場所から目的地まで、利用者の要望（時間、乗車場所等）に応じて運行するタクシー。
需要に応じて車両のサイズを選択する地域が多い。



フリーバス
（北陸鉄道株式会社）：
北陸鉄道株式会社では、フリー乗降区間を複数設定し、バス停以外での安全な場所での乗降を可能としている。

出典：北陸鉄道株式会社

[新たなシェアサイクルの導入検討]



コンビニに設置した事例

駐車場に設置した事例

ショッピングセンターに設置した事例

1 choice! / Web / まちのリクーポン

2 WELCOME! 「クーポン券」の順にタッチする

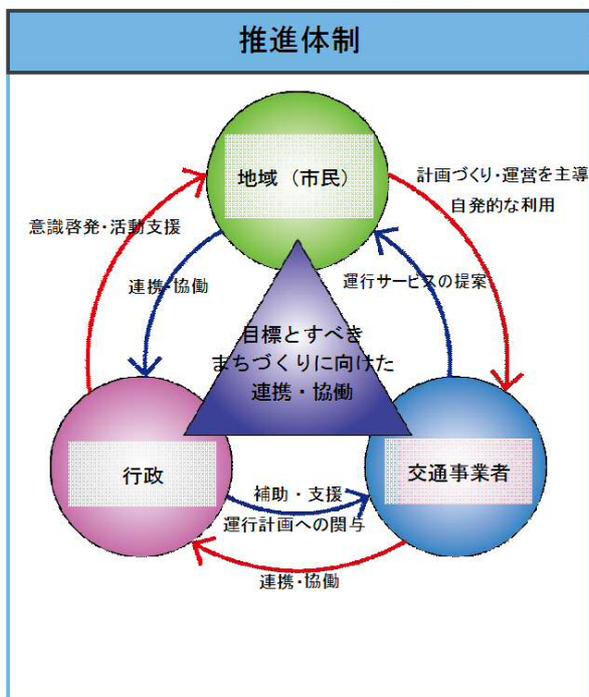
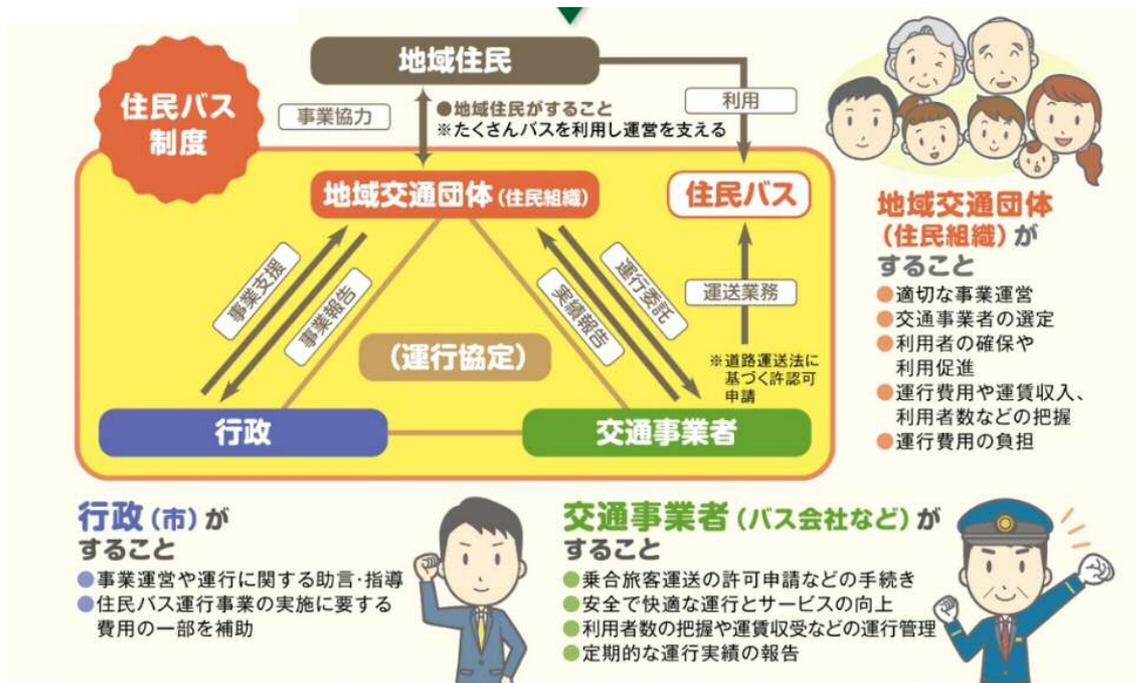
3 coupon / 発券する / 希望のエリアのボタンをタッチしてクーポンを発券する

4 使う! / 対象のお店でクーポンを提示して、特典を受ける

商店街との連携事例（金沢市）

出典：国土交通省

[地域主導による交通計画イメージ]



主な取組内容
◆公共交通等の利用促進に向けた情報提供や意識啓発の強化
・サービス等に関する情報提供や意識啓発
・ICT技術等を活用した情報提供の充実
・都心部におけるイベント時等を活用した利用促進 など
◆ユニバーサルデザインの推進
・交通施設のバリアフリー化や多言語対応など
◆地域主導による計画づくりや運営の推進
・自治会等の地域主導による計画づくりや運営
◆新技術等の導入促進
・民間活力の導入による新技術等の導入促進
・新技術等の導入に向けた社会実験の誘致・支援など

⑬ 公共交通等の利用促進に向けた情報提供や意識啓発の強化

① 取り組みの方向性

- 公共交通や自転車の利用促進に向け、サービス等に関する情報提供や意識啓発を強化します。
- ICT 技術等を活用した情報提供の充実を図ります。
- 都心部におけるイベント時等を活用し、公共交通や自転車利用の意識啓発を図ります。

② 取り組みの考え方

バスの利用者数は新バスシステム導入後、下げ止まったものの、自家用車の分担率は平成23年から5年間で1.7%増加しており、依然として増加傾向にあることから、引き続き、公共交通等の利用促進に向けた情報提供や意識啓発の強化を図ります。

これまで、公共交通利用に関する意識啓発として、各種イベントでの利用促進に関するPR活動などを実施してきたほか、今後もモビリティ・マネジメント推進しながら、公共交通の位置情報などを気軽にスマートフォンやwebページで確認できるICT技術などの活用を促進し、サービス提供を強化します。

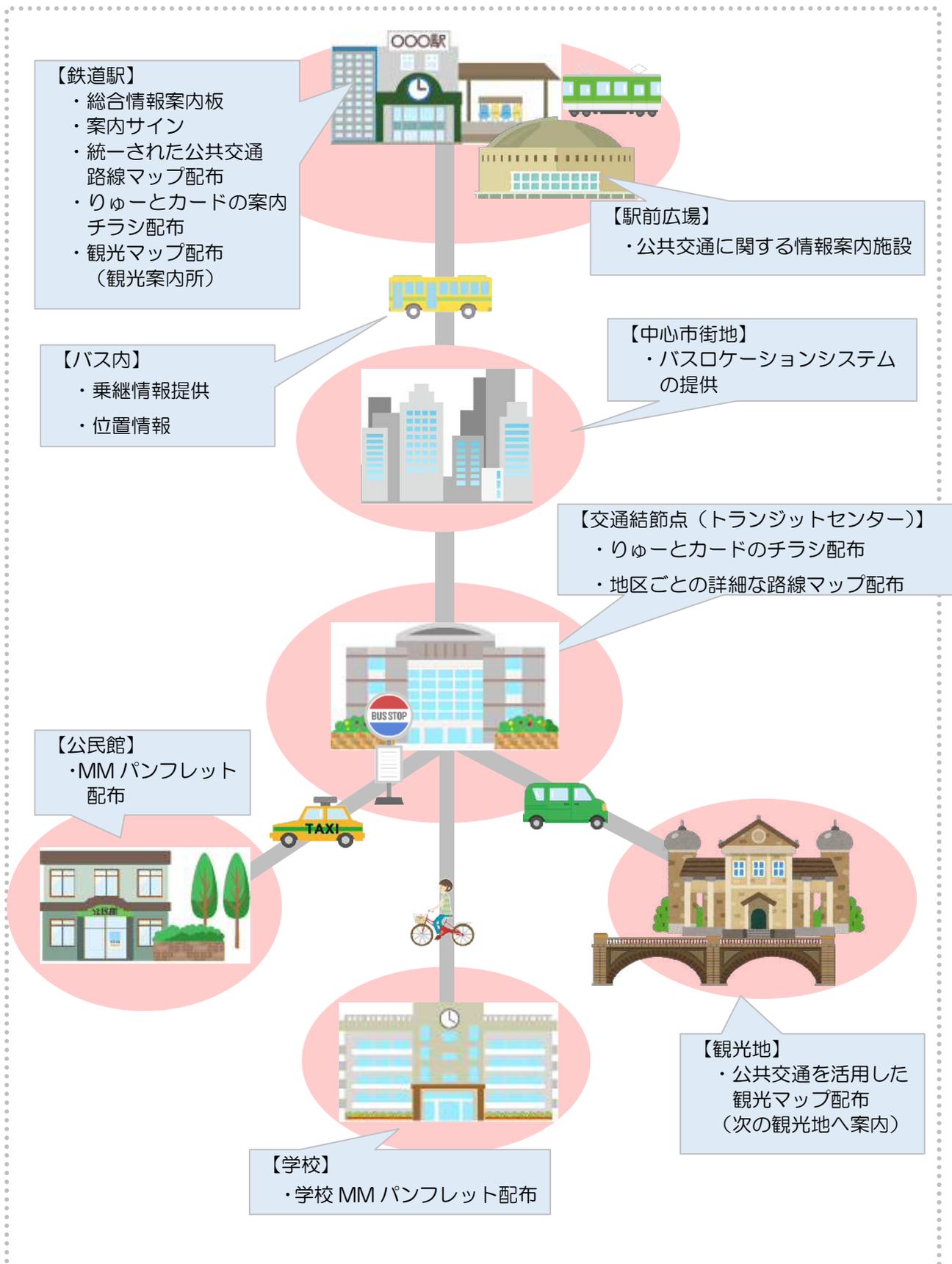
また、ICT技術を活用し、移動するごとに目的地の情報や乗り換え案内などの情報を得られるシステムなどの構築を検討します。

さらに、官公庁が率先してエコ通勤、ノーマイカーデーの推進に取り組むほか、自律的に「歩く」を基本とする「健幸」なまち「スマートウェルネスシティ」の構築に資する取り組みや、エコモビリティライフの推進に取り組み、公共交通などの利用促進に向けた情報提供や意識啓発の強化に努めます。

③ 具体的な取り組み案

- モビリティ・マネジメントの推進
- エコモビリティライフの推進
- スマートウェルネスシティの推進
- ICT技術の活用推進 など

[各施設に適した情報提供イメージ]



[鉄道駅のバリアフリー促進]



JR 小針駅バリアフリー化（整備中）



エレベーター設置（JR 東新澁駅）

[バリアレス縁石の導入]

実証実験の実施（バス停への設置）

- H28 年度
「秋葉区役所・総合体育館前」
- H29 年度
「程島ショッピングセンター前」



バリアレス縁石の導入状況

⑮ 地域主導による計画づくりや運営の推進【再掲】

① 取り組みの方向性

- 地域のニーズに応じた交通サービスを効率的に提供するため、地域主導による計画づくりや運営を推進します。

② 取り組みの考え方

これまでに取り組んできた様々な施策を土台に、地域に根差した生活交通を確保維持・強化する仕組みづくりが必要です。

公共交通の空白地や不便地域では、沿線の人口や運行距離などの採算面の問題から、路線バスを交通事業者が自主運行することに限界があります。

このため、路線バスの運行には、地域住民の積極的かつ主体的な参画が必要とされ、それぞれの地域の交通課題の解決に住民が主体となって取り組めるよう、今後も引き続き、住民バス団体の立ち上げから本格運行開始までに必要となる準備、手続きを積極的に支援します。

③ 具体的な取り組み案

- 地域の自主的な運営による交通手段の確保（再掲）
- 住民バス団体の立ち上げ・運営支援（再掲）
- 行政と交通事業者、地域住民の連携（再掲） など

[住民バス]

住民組織が主体運営する
住民バス

おらってのバス～北区～



にこここ号～中央区～



カナリア号～江南区～



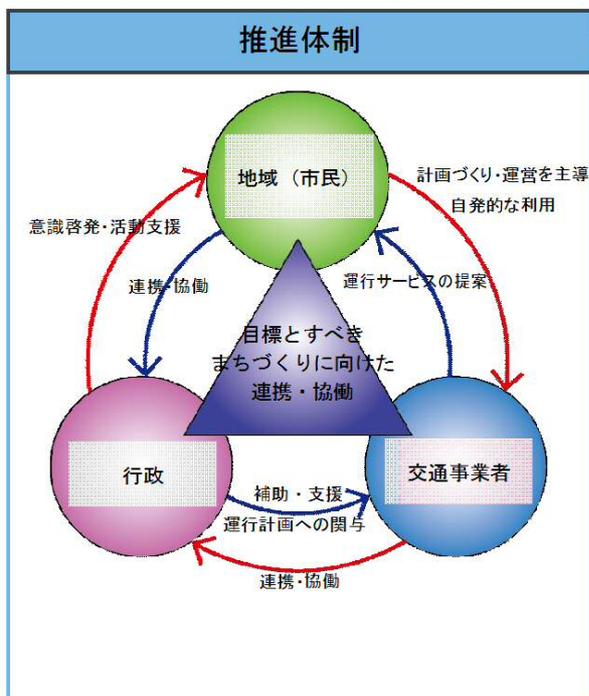
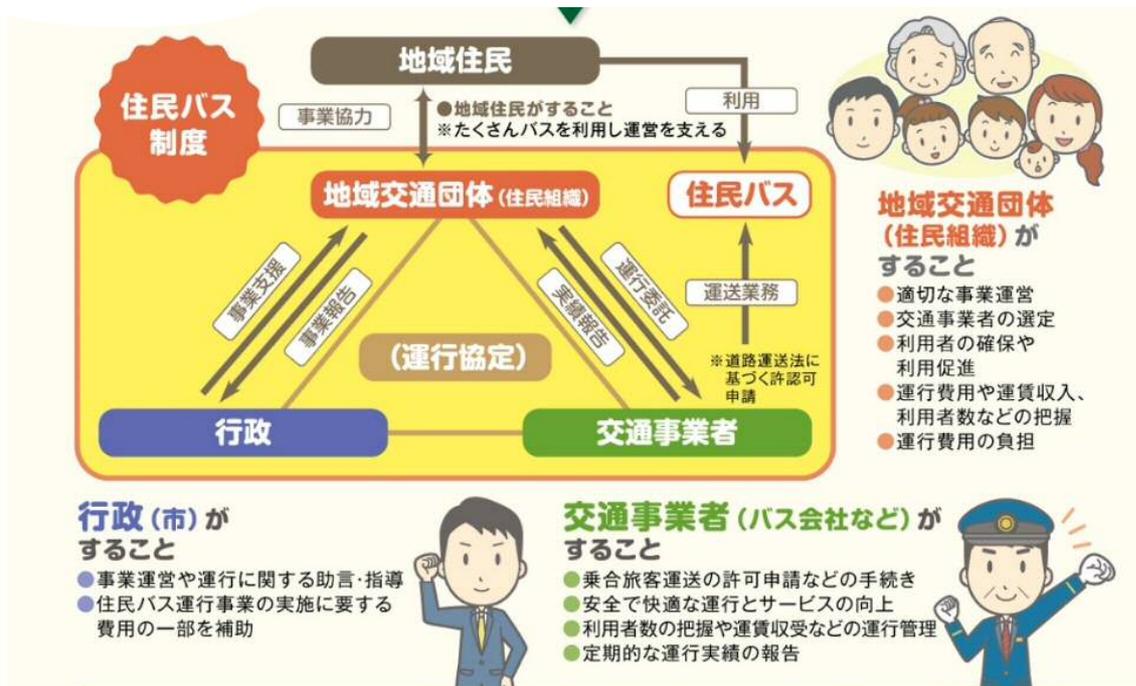
横バス～江南区～



Qバス～西区～



[地域主導による交通計画イメージ]



主な取組内容
◆公共交通等の利用促進に向けた情報提供や意識啓発の強化
・サービス等に関する情報提供や意識啓発
・ICT技術等を活用した情報提供の充実
・都心部におけるイベント時等を活用した利用促進 など
◆ユニバーサルデザインの推進
・交通施設のバリアフリー化や多言語対応など
◆地域主導による計画づくりや運営の推進
・自治会等の地域主導による計画づくりや運営
◆新技術等の導入促進
・民間活力の導入による新技術等の導入促進
・新技術等の導入に向けた社会実験の誘致・支援など

⑩ 民間活力による新技術等の導入促進

① 取り組みの方向性

- 効率的に交通課題を解決するため、民間活力の導入を促進します。
- 新技術等の導入に向けた社会実験を誘致・支援します。

② 取り組みの考え方

自動車の自動運転や公共交通の位置情報などに活用されるICTの新技術は、運転士不足や交通空白地域への対応など交通施策の諸課題の解決に効果が期待されています。

このため、ICT技術を活用したETC、バスロケーションシステム、デマンド交通予約システム、タクシー配車アプリなどの公共交通に関する技術や、信号制御の高度化技術など交通制御に関する技術の進歩にも注視し、その導入方法などを検討します。

さらに次世代自動車の導入については、環境に優しい水素バス、EVバスなどの導入を検討するほか、小型カートや小型バスなどを活用したラストワンマイル自動運転などの開発状況などを踏まえながら、社会実験の誘致や導入促進に向けた検討を進めます。

③ 具体的な取り組み案

- 自動運転技術、次世代自動車の導入促進
- ICT技術の活用推進（再掲） など

【スマートフォンを活用した相乗りタクシー
実証実験（東京都内）】

【民間事業者の車両を用いた自動運転の実証実験事例】



出典：国土交通省

【民間事業者の車両を用いた社会実験等】



民間事業者との協働による小型電動車両
を活用したカーシェアリング実験
(横浜市)



量産型燃料電池バス (東京都)



搭乗型移動支援ロボットを用いた
観光ツアー実証実験 (つくば市)



民間事業者の車両を用いた電気バス導入
(豊島区)